

PRESS RELEASE



名古屋証券取引所

NAGOYA
STOCK EXCHANGE

名古屋市中区栄 3-8-20 〒460-0008
Tel 052-262-3171 www.nse.or.jp

平成 26 年 5 月 28 日

各 位

5 月社長記者会見

1. 役員候補者の決定等について <資料 1 参照>
2. 売買単位の統一に向けた上場制度の見直しについて <資料 2 参照>
3. 名証 I R エキスポ 2 0 1 4 の開催について <資料 3 参照>

以 上

平成 26 年 5 月 28 日
株式会社名古屋証券取引所

役員候補者の決定等について

1. 取締役候補者

石	田	建	昭	(新任)
岡	谷	篤	一	(新任)
奥	野	信	宏	(重任)
木	村		茂	(重任)
畔	柳		昇	(重任)
徐		浩	平	(重任)
竹	田	正	樹	(重任)
辻	本	将	孝	(重任)
新	美	篤	志	(新任)

新任取締役候補者の略歴

<p>いし だ たて あき 石 田 建 昭 (昭和21年1月2日生)</p>	<p>昭和43年4月 ㈱東海銀行入行 平成4年4月 欧州東海銀行頭取 同6年6月 ㈱東海銀行取締役 同8年6月 同行常務取締役 同10年6月 東海投信投資顧問㈱取締役社長 同13年4月 欧州東海銀行会長 同14年4月 U F J インターナショナル会長 同15年4月 同社社長 同16年5月 東海東京証券㈱顧問 同16年6月 東海東京証券㈱取締役副社長 同17年3月 同社取締役社長 同18年6月 同社取締役社長最高経営責任者 (CEO) 同21年4月 東海東京フィナンシャル・ホールディングス㈱代表取締役社長最高経営責任者 (CEO) (現任) 同21年4月 東海東京証券㈱代表取締役会長最高経営責任者 (現任) 同22年6月 当取引所監査役 (現任)</p>
<p>おか や とく いち 岡 谷 篤 一 (昭和19年5月14日生)</p>	<p>昭和45年9月 新日本製鐵㈱入社 同50年9月 岡谷鋼機㈱入社 同57年5月 同社取締役 平成2年5月 同社取締役社長 (現任) 同25年11月 名古屋商工会議所会頭 (現任)</p>
<p>にい み あつ し 新 美 篤 志 (昭和22年7月30日生)</p>	<p>昭和46年4月 トヨタ自動車工業㈱入社 平成12年6月 トヨタ自動車㈱取締役 同15年6月 同社常務役員 同16年6月 同社取締役 同17年6月 同社専務取締役 同21年6月 同社代表取締役副社長 同21年6月 ㈱ジェイテクト監査役 同25年6月 トヨタ自動車㈱相談役 (現任) 同25年6月 ㈱ジェイテクト代表取締役会長 (現任)</p>

2. 退任取締役

荒 木 隆 司
岡 地 敏 則
高 橋 治 朗

3. 監査役候補者

安 藤 敏 行 (新任)
岡 地 敏 則 (新任)

新任監査役候補者の略歴

あん どう とし ゆき 安 藤 敏 行 (昭和37年4月6日生)	昭和60年4月 野村証券(株)入社 平成7年6月 安藤証券(株)入社 同8年6月 同社取締役 同10年6月 同社常務取締役 同13年6月 同社専務取締役 同14年6月 同社代表取締役社長 (現任)
おか ち とし のり 岡 地 敏 則 (昭和29年12月4日生)	昭和52年4月 東洋証券(株)入社 同56年7月 岡地証券(株)入社 同61年12月 同社取締役 平成元年6月 同社常務取締役 同3年6月 同社専務取締役 同5年6月 同社代表取締役社長 (現任) 同14年4月 当取引所監査役 同16年6月 当取引所監査役辞任 同19年6月 当取引所取締役 (現任)

4. 退任監査役

安 藤 正 敏
石 田 建 昭

(以上、敬称略・五十音順)

5. 執行役員候補者 (内定)

畔 柳 昇 (重任)
竹 田 正 樹 (重任)
丹 下 雅 博 (重任)
鈴 木 武 久 (重任)

注1. 取締役および監査役は平成26年6月30日開催予定の定時株主総会において、執行役員は同日定時株主総会終了後開催予定の取締役会において選任される予定です。

注2. 取締役候補者 石田建昭氏については、東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)および東海東京証券(株)での手続きが終わり次第、速やかに承認の承諾を得る予定です。

以上

売買単位の統一に向けた上場制度の見直しについて

平成26年 5月28日

株式会社名古屋証券取引所

I. 趣 旨

当取引所では、平成19年に全国証券取引所名で公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」に基づき、市場利用者の利便性向上の観点から、内国株券の売買単位を100株に統一するための取組みを進めてまいりました。当時、8種類存在した売買単位は、この3月までに、当面の目標としていた100株と1000株の2種類への集約をほぼ完了し、100株単位の会社が全体の2/3を超えるに至っております。この間、上場会社のご理解とご協力を得ながら各種取組みを進めるとともに、制度面では新規上場の要件として100株単位であることを求めてまいりましたが、今後は最終目標である100株単位への統一に向けて、一部指定や市場変更などの要件として100株単位であることを求めるとともに、より上場会社のご協力を得やすいよう、売買単位の引下げを容易にするための対応を行います。

II. 概 要

項 目	内 容	備 考
1. 一部指定などの際の要件の追加	・上場会社が一部指定や市場変更などを行う場合には、売買単位が100株単位となることを要することとします。	
2. 売買単位の引下げを容易にするための対応	・上場会社が100株単位への変更のため、単元株式数の変更を行う場合において、株主数の増加を抑制するために必要な範囲で同時に株式併合を行うとき、当該併合は原則として、上場廃止など実効性確保措置の対象とはならないことを明確化します。	

III. 実施時期（予定）

- ・平成26年7月を目途に実施します。

「名証IRエキスポ2014」の開催について

- 主催 名古屋証券取引所
- 後援 名証取引参加者協会、日本証券業協会、公益社団法人日本証券アナリスト協会、一般社団法人日本IR協議会
- 内容

- ◆ 日程 7月25日(金) 10:00～
7月26日(土) 10:00～
- ◆ 場所 名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール
- ◆ 出展企業数 107社(上場企業81社+証券会社等26社)
- ◆ 催事内容

<セレモニー> : 7月25日のみ

開会式	主催者挨拶とテープカット
トップ懇親会	アナリストと出展企業トップによる立食懇親会 (IRエキスポ10回出展企業の記念表彰を予定)

<一般投資家向けイベント> : 7月25、26日の両日実施

上場企業ブース	会場内に、全企業がブース出展
ブースツアー	投資家を、ツアー形式により、複数企業ブースに引率
ミニ説明会	希望する投資家を集め、ブースにて、説明会を実施
「マーケットアナライズ」 TV公開収録	BS TVで放送中の投資情報番組「マーケットアナライズ」がミニステージで公開収録を実施
マネーの相談室	FPがマネーにまつわる様々な問題点を具体的事例で説明する。相談コーナーでの個別相談も実施。夏休み企画として親子参加の金融クイズコーナーも開設。
トップ・プレゼンテーション	特設ステージにて、上場企業3社のトップがプレゼン
上場企業プレミアム説明会	特設ブースにて、上場企業7社が説明会を実施
講演会	有名講師による講演会 (25日) 杉村富生氏、武田邦彦氏、竹中平蔵氏 (26日) 長谷川幸洋氏、岸博幸氏、森永卓郎氏
投資スクエア等	IRエキスポ併設イベントとして、名証の取引資格を持つ証券会社等(26社)が、特設コーナーにて、各社による投資情報の提供、投資相談、自社商品のPRや説明を実施
証券会社協賛セミナー	隣接会場にて、協賛証券会社(14社)が、株式投資セミナーを実施

<アナリスト等専門家向けイベント> : 7月25日のみ併設実施(希望制)

個別面談	別会場ブースにて個別面談(アナリスト向け)
企業説明会	会議室にて説明会(証券営業担当者向け)